

本日の主要
プログラム

クラブフォーラム(ロータリーの友)

- ① ロータリーソング(我等の生業) ② 会長あいさつ ③ 会務報告
④ 出席報告 ⑤ ニコニコBOX披露

4回目の5分間スピーチは川畑宏二会員にロータリー財団100周年及びグローバルプロジェクトについてお話していただきます(天本)。

5分間スピーチ④

ロータリー財団100周年

会員 川畑 宏二

本年度は「ロータリー財団」ができて100周年の節目です。先週の例会で、深尾前会長がグローバルプロジェクトの候補となりうるかを調査する目的で訪問したカンボジアのプノンペンメトロRCや関連政府機関からの情報について報告をされました。そこで、それに関連してロータリー財団部門グローバルプロジェクト推進委員会の委員長報告も兼ねて、財団の100年の歴史のごく一部とグローバルプロジェクトの留意点等について述べさせていただきます。

ロータリー誕生(1905年)から12年後の第一次世界大戦の終盤にアメリカが連合国軍に参戦した1917年のアトランタの年次世界大会で、アーチ・クラフ会長は、世界で良いことをするための基金の設置を提案しました。組織が「ロータリー財団」と正式に命名されたのは1928年ですが、ロータリー財団のビジョンを提唱した年を起点に、今年度が100周年とされています。

設立当初、カンザスシティーRCからの26ドル50セントの資金提供で始まった財団は、最初の補助金として、1930年に国際障害児協会に500ドルを授与しました。それ以降100年で、30億ドルを世界の人道支援に拠出してきました。

1979年にはフィリピンで600万人の児童へのポリオ予防接種を開始しました。当時の年間発症例は125カ国で35万人以上でしたが、2015年に

は、ポリオ常在国がアフガニスタン、パキスタンのみの2カ国となり、発症数は99%減少しました。

1965年には、世界で多様な人道支援プロジェクトを実施するために、補助金制度が作られ、異なる国同士が国際理解を深めながら共同でプロジェクトを行うマッチンググラントの原型ができました。この制度を使って西クラブは、2005年にネパールのパタン西RCと共同提唱し、サンタローザサンライズ、鶴岡RCの協力も得て\$6,600の人道支援プロジェクトを行いました。

2013年には、「未来の夢計画」の新しい補助金制度の下で、地区補助金とグローバル補助金が導入されました。それまでの制度から大きく変わった点は、(1)単発でなく「持続可能」なものであること(2)小規模なプロジェクトでなく、最低でも3万ドル以上であること、(3)広い意味の人道支援全般ではなく、ロータリーの6つの重点分野に限定するということです。

これらの条件を踏まえて昨年度からネパールとカンボジアで現地RCとプロジェクトの構想を模索している段階ですが、実現可能性については、クラブや地区の財源とマンパワーを考慮して検討する必要があります。特に、パートナーとなる現地RCが原案を作成し資金管理とプロジェクト管理、さらには後のフォローまで確実にできることが鍵となります。

■ 前回の例会(9月7日)の報告

会 員 数	74 (67) 名
出 席 数	48 名
出 席 率	71.64 %

■ 前々回の例会(8月24日)の訂正

出 席 率	66.15 %
訂 正 出 席 数	51 名
訂 正 出 席 率	78.46 %

カンボジア訪問記

会員 深尾 兼好 君

今回の訪問の目的である、NMESC〈カンボジア看護助産教育支援プロジェクト〉は、看護助産職のサービスの質の向上を目指した継続教育活動を行っている。

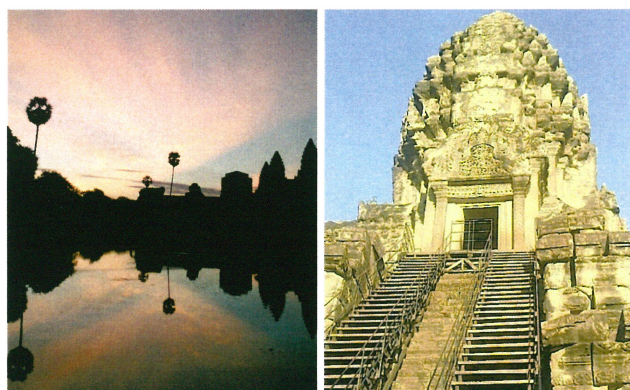
カンボジアは数年前から看護師・助産師の国家試験が実施されるようになったが、免許制度は未だ施行されておらず、免許取得のためには、国家試験に合格し、看護評議会への登録が求められる。登録には一定以上の研修が必要なことから、NMESCを内務省に登録し研修機関として機能させたいとのこと。カンボジアの医療現場での看護師・助産師の身分は保証されておらず、医師の手伝いや家政婦的な扱いで、横の連携もなく、2008年から始まった看護に関する大学専門学校教育でも修士程度の力を持った指導者となり得る看護師が極めて少ないのが現状。看護・助産師協会・看護学会といった国内の連携組織を構築し看護技術の向上を目指すために、まずは、看護・助産サービスに関するマネジメントやリーダーシップの育成が急務だと思われる。

翌日、ブノンベンメトロRCの西口みちえ会長と面談。グローバル補助金については、現在5件のホストを務めているが、これまでの例では、直接実施グループに資金を提供するという形を取らず、国際的なNGOを介して実行されているとのこと。報告書類はNGOが管理確認したものをホスト及びサポートクラブに提出している。今回の案件に関しては、カンボジアの看護・



助産教育の現状について、NMESCからメトロRCに卓話という形で紹介してもらい、コミュニケーションを続けながら時期を待ち、NMESCが正式に内務省の認可を受けて後、検討に移りたい。ということになった。

更にカンボジア保健省のティア・クルイ事務次官と接見。「是非看護支援サービスの向上にロータリーの支援をお願いしたい。保健省も、私個人もサポートするし、内務省への登録で問題があれば何でも相談してほしい」という前向きな言葉を頂いた。以上で任務完了、後はアンコールワットで目と心の保養…いい旅でした。



前回の例会記録 (9月7日分)

〈プログラム〉

- ・会員卓話「カンボジア訪問記」 深尾 兼好 君
- ・「5分間スピーチ③」 会員 大山 康成 君

〈オープンゲスト〉

(株)リブテック 代表取締役 新穂 恵 様

〈幹事ゲスト〉

米山奨学生 ソン・ダジョンさん (奨学金渡し)

〈入会式・バッジ贈呈〉

高木生花店 代表取締役 高木 博文 君
(紹介：藤安会員)

〈会務報告〉

- 1、「ロータリーの友」英語版のご案内
 - ・年1回11月発行 1部500円
 - ・10月13日(木) 締切り
- 2、例会終了後、IMアドホック委員会を開きます。
山形屋食堂への移動をお願いします。

次週予告 9月21日(水) 18:30～ 城山観光ホテル
観 月 会

※今週のニコニコBOXは次号に掲載します。

市内RC例会プログラム

東RC 9月15日(木) クラブフォーラム サンデイズン 鹿児島
北RC 9月15日(木) 12日(月)18:30～に変更 レンブラント 鹿児島
(中央RC・東RCとの合同観月会)
サザンランド R C 9月15日(木) 会員卓話 右田 省二 君 東急 REI
鹿RC 9月16日(金) ゲスト卓話 山形屋
南九州ケーブルテレビネット(株)
代表取締役社長 山口 俊樹 様
アウンサー 岩元 明子 様

中央RC 9月19日(月) 祝日のため休会 山形屋
東南RC 9月20日(火) 模擬面接の勉強会卓話 サンロイヤル
城西RC 9月20日(火) クラブ定款に基づき休会 東急REI
南RC 9月21日(水) ロータリーを語り合う例会 サンロイヤル
西南RC 9月21日(水) 会員卓話 ゆうづき